

平成26年度種雄牛の作出について

1 基本方針

岡山和牛が本来持っている増体能力と岡山固有の遺伝子を維持しながら肉質の改良を行い質量兼備の種雄牛造りを行う。また、産肉能力の飛躍的な向上を目的に、他県からの精液導入も計画的に行う。

このため、育種価能力を基本にしながら、産肉能力検定（直接法、現場後代検定法）による優良種雄牛の造成に取り組む。

2 平成26年度指定交配について

①岡山系種雄牛の作出

岡山系血液：1/2以上

【種雄牛】

岡山系1/2以上 新初英、第1花国、糸藤（岡山）他

【交配雌牛】

育種価要件	脂肪交雑	上位10%（A1）以内
血統要件	岡山系	1/4以上
その他	体型得点	80.1以上

②増体系種雄牛の作出

期待育種価：枝肉重量、ロース芯上位5%以内
岡山系血液：1/4以上

【種雄牛】

気高系等 平茂勝、沢茂勝、平鶴 他

【交配雌牛】

育種価要件	脂肪交雑	上位10%以内
その他	体型得点	80.1以上

③肉質系種雄牛の作出

期待育種価：脂肪交雑上位5%以内
岡山系血液：1/4以上

【種雄牛】

但馬系 福安照、美津照重、利花 他

【交配雌牛】

育種価要件	脂肪交雑	上位10%以内
	枝肉重量・ロース芯面積	県平均以上
その他	体型得点	80.1以上

3 造成種雄牛の利用方針

①岡山系種雄牛

交配雌：岡山系血液濃度が低く、枝肉重量・脂肪交雑が県平均以上
のもの

②増体系種雄牛

交配雌：但馬系血液濃度が高いもの

③肉質系種雄牛

交配雌：岡山系、気高系血液濃度が高いもの